

令和 7 年

第 9 回教育委員会会議録

(開会 令和 7 年 8 月 20 日)

(閉会 令和 7 年 8 月 20 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和 7 年 8 月 20 日 午前 9 時 00 分開会

会場：市役所 4 階第 3 会議室

出席委員

堀部好彦君（教育長）

伊藤小百合君（教育委員）

長井知子君（教育委員）

欠席委員

梶田知靖君（教育委員）

小栗照代君（教育委員）

説明のために出席した者

水野伸治君（事務局長）

下園芳明君（教育総務課長）

木村正男君（学校教育課長）

奥田晋也君（学校教育課主任指導主事）

石黒智子君（教育研究所主任指導主事）

古野 寿君（学校教育課指導主事）

青木裕介君（教育研究所指導主事）

只腰知子君（学校教育課学校支援係長）

出席委員会事務局職員

木村雄大君（教育総務課総務係長）

伊藤師啓君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 教育長報告

3 教育委員報告

4 議 事

①議案第18号 教育に関する予算の意見について（令和7年度可児市一般会計補正予算（第3号））

②議案第19号 令和6年度可児市教育委員会事務の点検・評価について

③議案第20号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

5 各課所管事項

6 委員からの提案協議事項

7 その他

8 閉 会

開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） これから令和7年第9回の教育委員会会議を開催させていただきます。

定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということでよろしくお願いします。

教育長報告

- 教育長（堀部好彦君） では最初、私、教育長報告でございます。

3点ありますので、お願いします。

1点目は、7月29日終日行われました可児市の初任者研修についてです。

教育研究所の計画で毎年しっかりやっていた研修でございますが、私、初任の先生方の様子に触れたかったですから、午後の一部分に同席をさせていただきました。午後のメニューはスマイリングルームに出かけて、そこで可児市の不登校対策についての説明を受けて、自分たちのこの4か月の様子を交流するとかというような内容でございました。

まず、その様子を見ていてうれしかったのは、全員が参加をして、いい表情で話を聞いていました。私の出番もありまして、少し挨拶をさせていただいたんですけども、私の話を聞く初任の先生方のまなざしが熱いというのか、きりっとした感じで話を聞いてくださったことが大変うれしかったです。

そしてもう一つうれしかったのが、休み時間のときに1人ちょっと声をかけて、初任の先生にね。男性の先生でしたが、こんなことを聞きました。夏休みは十分取れたというふうに聞いて、ざくっと10日間ぐらいいは取れたかよなんて聞いたんですね。そうしたら、いい顔で14日取れましたと。お盆14日連続なんて、まさか連続じゃないだろうなあなんて思いながら、連続なんていうふうに聞いたら、「はい」と。今年は曜日の関係もあるのか、休みが連続で結構取れるようですね。校長からも聞きました。

十分な休養も取りながら、そしていい顔で研修を受けている初任の先生方の様子を見て大変うれしく思いました。それぞれの学校で支え合って、そして研究所をはじめ、教育委員会の支えあつてのことかなと思って感謝申し上げます。これが1点目です。

2点目は、8月8日、可児っ子海外交流訪問団の出発前の表敬訪問に参加をさせていただきました。8月13日から8月22日までの交流で、今年もレッドランドシティーを中心に訪問するということで、訪問の計画、そして訪問団の中学生・高校生の意気込みを語る会でした。

今年は全部で15名の中学生・高校生が参加するということで、そのうち中学生が4名でした。まさに今訪問の真っ最中で、今年は私にもメールが届くようになっておりまして、オーストラリアにいる担当から保護者宛てのメールなんですけれども、それが私のほうにも届くということで、子供たちの様子が、詳細がリアルタイムで分かってくるようで大変ありがたく思っています。一生懸命いい顔をして交流をしているようです。

その表敬訪問、これから行きますという事前の会で印象的だったのは、中学生・高校生がどんなことを交流で頑張っていきたいのかとか、なぜ交流に参加したのかというこ

とで、やはり英語力を磨きたいというように言う子が多かったんですけれども、それに加えて日本の文化とは違う異文化を実感したいとか、それから英語力を磨くことを通してコミュニケーション能力を高めたいとか、それから野生動物保護に力を入れている国なので、その実際を確かめたいとか、さらにそういった交流で身につけた力を自分の今後に生かしていく、自分の将来の仕事に生かしていくというようなことで、大変しっかりした目的を持っていることをすばらしいなと思うし、今申し上げたような子供たちが期待をしている、こんな自分になっていきたいというのはまさに「笑顔の“もと”」だなと思いながら聞いておりました。

今後、この訪問の報告会にも私は参加することになっておりまして、そのときには私も講評というか、子供たち一人一人の発表を聞いた感想を述べる時間もありますので、今申し上げたようなことを伝えていけるといいかなと思っています。これが2つ目です。

3つ目は、これも交流事業なんですけれども、津山市歴史友好都市30周年記念で行われた津山市夏休み可児っ子交流というのがありまして、この報告会が8月15日に行われました。この交流事業が8月6日、7日に行われておりまして、事業内容は市内小学校6年生の希望の児童10名、応募が16名あって、厳選なる抽選で10名を選んで、その10名の子たちを市の職員等が引率をして津山市に訪問し、津山市で交流をするということなんです。その事業の報告会がありました。

これは市長肝煎りの事業のようで、津山市歴史友好都市30周年記念ということで毎年やるわけではないようです。この津山市歴史友好都市というのはどういうことかというところ、可児市の兼山ゆかりの森家と津山市が関係があるということなんですけれども、森家というのは、信長に仕えた武士の一団のうちで大変信頼はされていたようですけれども、戦のときに常に先陣を切って先頭に行くような、そんな森家だったようです。ということは、森家、戦で死者が一番出るとされるんだけれども、そういうようなこともあって、森家を絶やさないために、戦が多かったこの美濃の地を離れて、血を絶やさないために津山に送られた武士がいるんですね。それが森忠政。森忠政が津山藩へ移住し、津山藩の藩主となったのが1600年代なわけなんですけれども、そういった縁があって可児市は旧兼山町の頃から岡山県津山市と交流をするようになったそうです。

今回、子供たちにそういった歴史を学ばせていきたいということで、市長肝煎りの事業ということのようです。向こうで森忠政ゆかりのお寺にお参りしたり、それから津山城を見学したり、それからいろいろな博物館なんかを見学したりということで、向こうの子供たちとの交流もしながら、津山市長、津山市議会議長のお話も聞きながらということで大変充実した研修になったようです。

そこで、私とその報告会でそういう報告をお聞きしたときに、市長に加えて私も話をしてくれということでしたので、そこでお話をした。これも結局は「笑顔の“もと”」の話をさせてもらいました。というのは、可児市の歴史を学び、可児市のよさを感じて、可児市を誇りに思うこと、そしてもっともっとさらに興味・関心を高めて、日本の歴史を学んで、日本人としての誇りを持つこと、そういったことを期待したいということと、そういった誇りは未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」ですよという話をさせていただきました。

3点、大きく3つ報告をさせていただきましたが、先生方も子供たちも、この夏大変

暑いんですけども、充実した生活を送ってくれているなということを思いましたので、報告させていただきました。以上でございます。

教育委員報告

- 教育長（堀部好彦君） では、教育委員報告に入ります。
- 教育委員（伊藤小百合君） おはようございます。よろしくお願いいたします。

前回の会議からですけども、教育委員としての活動は特にありませんでした。

先日、新聞に全国学力・学習状況調査の結果で「授業の内容がよく分かる」という質問に「当てはまる」「どちらかという当てはまる」という回答が減少ぎみという記事が載ってまして、ああなるほどというか、ああそうなんだなというのを思いついて、苦手なことに取り組もうとする姿勢というのは大人でもなかなか難しいと思うんですけども、やはり何度も繰り返して、そういう自分としての課題に向かって行っていくということは大切だと思っています。

テストの結果ももちろん重視していかなければいけないと思うんですけども、やっぱり子供たちが育っていくためには、学校の点数、学力というか点数ももちろん必要ですけども、それだけではなくて、やっぱり家庭だったりとか地域の生活環境ともつながって自分たちが成長していくので、生きるための原動力として、繰り返しになりますけれども、学校だったりとか、家庭生活、地域での生活の体験とか文化を通じて育んでいくことがやはり大切だなというのを感じました。

短いんですけども、以上です。

- 教育長（堀部好彦君） ありがとうございます。

今、伊藤委員が指摘した全国学力・学習状況調査、全国学調の結果なんですけれども、ちょうど今朝の新聞にもその辺りが載っていて、その原因は何だろうということで書いてありました。可児市の結果及びその分析は今されている最中かと思うんですけども、その分析をまたこちらで共有をして、今後の学力向上に向けての取組を明らかにしていく必要があると思っています。

一方で、伊藤委員が言われたことは全く私も同感なんですけれども、そういった全国学調の数値でははかれない生きるための原動力と言っておられたんですけども、それを大切にしていきたいというのは、まさに本当に私もそのとおりです。今、伊藤委員の言われた生きるための原動力というのは、これ「笑顔の“もと”」ですよね。だから、私たちが全国学調でははかれない生きるための原動力、「笑顔の“もと”」って何だろうということを常にやっぱり考えていくことが大切かなと。それを自分の好みで、自分だけの見方で考えていくということだけではなくて、やっぱり子供たちの将来を見据えて、今の世の中の動き等も踏まえて何が必要なんだろうかと考えて続けていく。そういった動きをいろんなところに広めていくということが大切かなということを改めて思いました。ありがとうございます。

- 教育委員（長井知子君） おはようございます。よろしくお願いいたします。

教育委員としての活動は特にありませんでした。

先日子供が水難事故で亡くなりましたけれども、数年前にも火事で亡くなった子がいて、私はあの日のあの時間、仕事でマンションをちょっと借りているんですけど、

そこにいたときに、時期もあって窓を開けていて、そのときに空が真っ白になってプラスチックが燃えるような臭いがして、ヘリコプターがバラバラとすごい音を立てていたので、工場で火事なのかなと思って、でもあまりにもすごい臭いだったので、窓を閉じました。家に帰って、火事で子供が亡くなったというのを聞いて、本当にしばらく大人の私でも立ち直れないくらい苦しくて、ちょっと夜もあまり寝られないようなふうでした。なので、今回の事故も子供たちの受けた計り知れない悲しみというのは本当にすごいものだと思うので、もちろんされているとは思いますが、ケアをしてあげてほしいと思います。

もう一つ、先ほど教育長が言われていた子供たちが海外に行っていた、広報に写真が載っていたような気がするんですけど、違うかもしれないんですけど、うちの子が今大学4年生なんですけれども、高校生のときにボーイスカウトで、大会ということで世界中の子供たちが集まってキャンプをするということをアメリカでしまして、それに参加したときに息子が言ったのが、英語をしゃべれないのは日本人だけだったと言っていました。

なので、今回のプロジェクトに行っている子供たちはいいなと思いますし、うちの子が学生のときに、高校生・中学生のときにそういうことがあれば、ぜひ行かせたかったなと思うと同時に、そういった機会があればぜひ行っていただいて、そうすると本当に世界というものはいろいろな生き方があって、日本にいと私たち当たり前のように勤勉に働いていますが、それさえも当たり前じゃないという国もありますので、子供たちには、ぜひいろいろなチャレンジや挑戦をしてもらいたいなと思います。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** 今長井委員が言われたボーイスカウト、ガールスカウトの大会というのは、ジャンボリーという。

○ **教育委員（長井知子君）** ジャンボリーです。

○ **教育長（堀部好彦君）** ですよ。多感なときにそういった異文化に触れる強烈な体験というのは、その子の人格をつくる上で本当に大きな影響、力になっているんだろうなと思って、そういう意味でも可児っ子の海外派遣というのは本当に意味のあることだと思います。

それから、水難事故についても触れてくださいましたが、大変不幸な事故でございました。その後すぐに臨時校長会を開いて事案についての説明をし、今後のことについての確認をさせてもらったところです。

私、思うんですけど、こんな言葉がありますよね。「人は二度死ぬ」という言葉が、特に命や平和について日本人は7月、8月に考えることが多いですよ。今年は戦後80年の年もあって。「人は二度死ぬ」という言葉は、よくこの8月ぐらいに、よくというか、たまに聞く言葉なんだけど、1度目の死は肉体の死ですよ。2度目の死は、その人が亡くなったこと、この世から去っていったことを知っている人が誰もいなくなることで、これが2度目の死だと。2度目の死はあってはならないと、平和を訴える原爆に、この死んだ方々のそばにおられる方はそうやっておっしゃいますよね。

同じように、私も今回の水難事故で本当に若くしてこの世を去った子のことを忘れてはならんと。2度目の死を迎えてはならんということを思って、校長会でいろいろな話をさせていただきました。また機会があれば、それについての話もさせていただきたい

なと思っています。ありがとうございました。

議事

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、次に議事に入ります。

○ **事務局長（水野伸治君）** おはようございます。

議案書を御覧ください。

表紙の裏ページの目次のとおり、本日議案が3件でございます。

議案第18号 教育に関する予算の意見について（令和7年度可児市一般会計補正予算（第3号））、議案第19号 令和6年度可児市教育委員会事務の点検・評価について、議案第20号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上3件についてよろしくをお願いします。

○ **教育長（堀部好彦君）** 本日の議事の議案第18号 教育に関する予算の意見について（令和7年度可児市一般会計補正予算（第3号））、議案第20号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、その他の不登校児童生徒の状況について及び児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録についてに関しては、意思形成に係る案件や個人情報、プライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これらの件については非公開とします。

それでは、議案第19号 令和6年度可児市教育委員会事務の点検・評価についてを議題とします。

○ **教育総務課長（下園芳明君）** それでは、議案書3ページをお願いします。

議案第19号 令和6年度可児市教育委員会事務の点検・評価について。

令和6年度可児市教育委員会事務の点検・評価を別紙のとおり決定する。令和7年8月20日提出、可児市教育長 堀部好彦。

それでは、別紙1の資料をお願いします。

令和6年度可児市教育委員会事務の点検・評価報告書です。

内容の説明は、7月25日に開催しました教育政策会議において説明をさせていただきましたので、ここでは省略いたします。

なお、本報告書につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、教育事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い作成したもので、御承認いただいた後は議会に提出し、その後公表いたします。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について御質問、御意見等ありますか。よろしいですか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

特にないようでありますので、この件について承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については承認をいたします。

各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** 続いて、各課所管事項です。
- **事務局長（水野伸治君）** 私のほうからは、8月7日に開催されました議会についての報告をさせていただきます。

8月7日に臨時会が開催されまして、議長・副議長、それから各委員会の委員長・副委員長、それから構成メンバーが交代となりました。

もう一点、第4回定例会、8月・9月議会が8月21日から9月26日まで、会期を37日間ということで開催されます。

本日、議案として提出させていただきました補正予算につきましても、市議会の議案として上程する予定でございます。また一般質問、教育委員会のほうにも質問があるようですが、9月3日、4日の予定でございます。

私のほうからは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。
- **教育総務課長（下園芳明君）** では、私のほうからは、今年度の小・中学校の主な工事の進捗状況について報告させていただきます。

まず小学校ですけれども、昨年度から進めております桜ヶ丘小学校の大規模改造工事につきましては、現在も順調に進めておりまして、当初の予定どおり年度内に工事が完了する予定です。

なお、トイレの改修工事、本年度3校、東明小学校、広見小学校、旭小学校の工事につきましては、後ほど説明させていただきますが、工事内容に若干の変更がございます。現在契約が終了し、工事が始まるところでして、年度内の完成を見込んでおります。

中学校のほうは、昨年度から進めております中部中学校のトイレ改修工事は順調に工事が進みまして、今月いっぱい完成予定です。今年度から行うほかの中学校、東可児中学校、西可児中学校のトイレ改修工事は、小学校と同様、契約が完了したところで工事が始まるところです。広陵中学校のエレベーター棟増築工事につきましては、今後発注しまして、こちらにつきましても年度内の完成を見込んでおります。

また、給食センターの空調工事は今月中に完成見込み、またLED化工事は年度内の完成見込みとなります。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。
- **学校教育課長（木村正男君）** 前回の教育委員会会議以降の学校の関わりをお伝えします。

話題上がりました7月26日にありました水難事故についてです。

当該校と連携しながら、事務局職員はもちろん、市役所の関係各課と連携を密にして対応しております。学校では、その日のうちから学校職員幹部が集まって協議して進めてきました。翌日には全職員が集まって、今後の対応について慎重に話し合っただけで対応を進めました。今、長井委員がおっしゃったように、子供のケアがとても大事ですので、すぐにスクールカウンセラーを派遣し、いつでも相談に乗れる体制は組んでできております。

今後、夏休み明けも心配ですので、再発防止に向けての2つの軸を立てて動いていこうと思っております。1つは、まずは自分の命は自分で守るという意識を高めるような

予防教育をしていきたいと思っております。もう一つは、危険な場所に行かないように保護者に啓発していくことをしていきたいと思っておりますので、この2軸を大事にして進めていきたいと思っております。

なお、臨時校長会も開きまして、再発防止に向けて対応した市内の各学校においての周知を校長会の中でしておりますので、各学校、全学校において広げてもらう予定であります。この件につきましては、この後の生徒指導担当からまた詳しく話を伝えますので、よろしくお願いいたします。

話は変わります。

7月30日に、各学校の生徒指導主事と市内の主任児童委員の皆さんで交流会を行いました。それぞれにふだんからどのような交流をしているのか伝え合いまして、本の読み聞かせをしていますとか、挨拶運動など様々な活動を実施していることが分かりました。実は、この交流会は数年前までは実施していたんですが、コロナを機にできずに来ておまして、ただ、主任児童委員の会長から熱心にやっぱりこういう会は広げてほしいという願いがありましたので、今年度から再開することができました。3年に1回のこの交流会は今後も継続していくことになっております。

なお、中身については、各生徒指導主事から発表ありましたが、どの学校も上手に交流しているということが分かりました。以上です。

続いて31日ですが、可児市PTA連合会会長が見えまして、水野事務局長、下園教育総務課長同席の下で話合いの場を持ちました。内容は、水難事故への対応、そして熱中症対応に対してのことです。学校でできること、保護者の皆さんで協力していただきたいことについて話し合いました。このような会も、今まではあまり開催できずに来ましたが、PTA連合会の呼びかけで開催できました。中身の深い会になったと思っております。可能な限り、今後も続けていきたいと思っております。

なお、現在小・中学校は夏休み期間中ですが、もう2週間ない状態になってきておりますので、うまく夏休み明けの生活がスタートできるように見守っていききたいと思っております。学校生活開始後、全ての学校の生徒指導主事と連絡を取り合って、気になる児童・生徒の夏休み中の様子を確認していきたいと思っております。必要に応じて気になる児童・生徒へのアプローチ、必要によってはケース会議も進めていきたいと思っております。

また、校長会・教頭会におきましても、例えばSOSの出し方教育などの実践も繰り返し啓発して、不安定になりがちな児童・生徒がないように早期対応していくと依頼していきます。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

○ **教育研究所主任指導主事（石黒智子君）** お願いします。

本日資料はございませんが、研究所よりお願いいたします。

夏季休業中、初任者研修と研修講座を企画・開催しているところです。先ほど教育長報告でも話題が上がりましたが、7月29日に初任者研修を行いました。初任者が4月からの4か月の振り返りを感想として書いたものを1つ御紹介して報告とさせていただきます。

講師経験のある初任者の感想です。

4月、5月は仕事量の多さ、慣れない環境になかなか適応できず、心身ともに苦しくて、この仕事を続けていくのは難しいかと思うほどでした。6月を過ぎた頃からようやく少しずつ慣れてきて、残業時間も減ってきたため心に余裕が出てきました。学級経営など、まだまだうまくいかないことも多いですが、こうやって苦難を乗り越え、成長していきたいと思いますと書かれていました。

この感想にありますように、初めての担任業に慣れるまでに随分心の葛藤があったことが分かります。苦難という表現がありましたが、初任者がまず安心して勤務できるように支えていきたいと改めて感じております。

8月の研修の詳細については9月に御報告いたします。以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

各課からの報告等につきまして御質問、御意見ありますでしょうか。
よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

教育総務課からの報告で、様々な大規模改修等報告がありまして、ありがたいと思いますが、順調にということで、今どき本当に猛暑が続くとか、それから教員の世界だけではなくて、そういった建設の業界も人材不足という、人手不足ということがある。大変だと思うんですね、物価高騰とか。そういう中で子供たちの教育を最優先に考えていただいて、期限に間に合わせていただけるということ、当たり前じゃないなと思っています。業者とのやり取りも限られた会議の中でよくやったださっていると思って、改めて感謝申し上げます。

ほか、よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

委員からの提案協議事項

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、御質問等もないようですので、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題とします。

何かありますでしょうか。

いいですか。

〔挙手する者なし〕

その他

○ **教育長（堀部好彦君）** では、次にその他に行きます。

次回の日程等です。

○ **教育総務課長（下園芳明君）** 次回の会議の日程についてですが、9月19日金曜日の午前9時からということでよろしくお願いします。場所は市役所5階第2委員室です。

その次の10月の日程につきましては現在調整中です。よろしくお願いします。

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、よろしくお願いします。

では、このまま続けさせていただきたいと思いますが、よろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

これより会議を非公開としますので、ここで傍聴人の方につきましては御退席をお願い

いします。

それでは、これより会議を非公開とします。

(以下非公開)

(以上非公開)

閉会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） それでは、以上で全て終わりましたので、これにて教育委員会会議を閉会します。ありがとうございました。

閉会 午前10時14分